



Hisato Ozawa

幻の名曲が今、
世界初演でよみがえる!!

片山杜秀らによつて遺された楽譜が発見されるまで、その存在をほぼ忘れられていた作曲家——大澤壽人。1930年、単身渡米し、ボストン大学、ニューヨークランド音楽院に学び、日本人として初めてボストン交響楽団を指揮した人物である。発見後、衝撃と共に再評価された彼の作品は、ダイナミックかつ繊細、自由な独創性にあふれ、没後60年を経た現在でも圧倒的な輝きを放つ。今回は、次代を担う山田和樹を指揮に迎え、世界中で活躍する福岡洸太郎のピアノという絶好の顔合わせによって、世界初演を含む貴重な演奏が実現する。

©神戸女学院所蔵資料「大澤壽人遺作コレクション」

再発見

戦前日本のモダンリズム

忘れられた作曲家 大澤壽人

おおざわ ひさと

指揮 = 山田和樹

Conductor: Kazuki Yamada

コントラバス = 佐野央子**

Double Bass: Nakako Sano

日本フィルハーモニー交響楽団

Japan Philharmonic Orchestra

ピアノ = 福岡洸太郎*

Piano: Kotaro Fukuma

コントラバス協奏曲** (1934)

Hisato Ozawa: Concerto for Double-Bass and Orchestra, World Premiere

ピアノ協奏曲第3番 神風協奏曲* (1936-38)

Hisato Ozawa: Concerto No. 3 "Kamikaze" for Pianoforte Solo and Orchestra

交響曲 第1番* (1934)

Hisato Ozawa: Symphony No.1, World Premiere

世界初演

世界初演

9/3 (日) サントリーホール 大ホール

15:00 [開場14:30] ○入場料[指定席] S席 4,000円/A席 3,000円/B席 2,000円/学生席 1,000円

主催=サントリー芸術財団 協賛=サントリーホールディングス株式会社 制作協力=東京コンサーツ

